

平成28年度学校評価の概要

平成28年度 重点目標	<p>1 授業、家庭学習の充実により、確実な学力を身に付け、一人一人の進路目標の実現を目指す。</p> <p>2 マナーの向上及び元気な挨拶、大きなかけ声が行き交う活発で清々しい雰囲気のある学校づくりを推進する。</p> <p>3 学習活動、部活動、学校行事等の充実を図り、生徒の満足度を高めるとともに、広報活動を充実させ、地域の進学校としての魅力を伝える。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携の強化 ・生徒・職員の防災意識の向上と防災体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの委員会活動の充実化を支援し、PTAの学校教育活動への参加を促進する。 ・防災避難訓練や防災講話等を実施し、防災マニュアルの共通理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの委員会活動へ効果的な支援をし、公開授業等へのPTAの参加を増加させる。 ・アンケートを実施して防災意識を確認するとともに、災害時の初動体制の準備をする。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解コース開設に向けての準備 ・平成29年度入学者選抜の円滑な進行 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程を作成し、連携先・施設などを計画する。 ・入試手順・業務を周知徹底し、教員配置や業務方法等を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性を定めて教科・分掌に説明し、他校と連携を図る。 ・改訂部分を全職員に説明し、ミスのないように進める。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進と新大学入試の研究 ・国公立大学の調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業レディネステストの実施と新大学入試に対応した授業改善を推進する。 ・学級担任を中心に国公立大学の研究内容・就職状況等を調査・研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業レディネステストを実施し活用するとともに、アクティブラーニング等の授業実践を進める。 ・調査・研究結果を生徒の進路指導に生かす。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識の向上 ・規律ある生活態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止及び交通マナーに対する意識の向上を図る。 ・生徒一人一人が、今、何をなすべきかを考えて行動できるように全校体制で指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数を減少させ、交通マナーに関する苦情をなくすように指導徹底する。 ・規則正しい生活習慣を確立させ、制服・携帯電話等の規定を守らせる。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃の徹底 ・相談活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制での清掃活動の徹底を図る。 ・問題を抱える生徒の早期発見と早期対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備委員による毎週末の清掃点検を活用する。 ・学級担任等との連携を図るとともに、スクールカウンセラーと相談室の効果的活用を図る。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の充実 ・部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒の参加意識を高めるとともに、ボランティア活動の充実を図る。 ・指導体制及び活動環境を整備し、安全に配慮した効率的な活動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒議会等を十分に活用するとともに、ボランティア活動に関する広報等を推進する。 ・学習と部活動を両立させ、高校生らしい生活習慣に付けさせる。
ユネスコ・国際教育部	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の充実 ・ユネスコスクールとしての活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・訪豪団・訪日団・長期留学生との交流等により国際理解教育の充実を図る。 ・環境教育及びボランティア活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による国際交流活動を充実させ、成果を生徒全体に伝達・還元する。 ・ユネスコクラブとの連携を進め、地域でのボランティア活動を充実させる。
図書部	<ul style="list-style-type: none"> ・館内書籍の整理と配置の検討 ・利用者の増加のための広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍の廃棄手続きを進め、館内のレイアウトを変更する。 ・学習場所に図書館を開放し、新着図書の広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄手続きを計画的に行い、新着図書を展示紹介する。 ・定期的に図書館開放を行い、図書館便りで広報する。

平成28年度学校評価の概要

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・安城東高生としての生活の確立 ・適切な文理選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分前登校を徹底と生活記録による自己管理の徹底を図る。 ・キャリアガイダンス講演会等によって意識を向上させ、面談で助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻総数を減少させ、学習時間調査で目標時間を達成させる。 ・生徒の希望と成績を考慮して適切な文理選択の指導を行う。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある生活と他者を思いやる心の育成 ・自己の進路の考察と進路実現のための基礎学力の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分目前校を推奨し、行事や挨拶を通じて精神的な成長を促す。 ・生活記録、個人面談等を通じて、生徒の進路目標を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻総数の減少と行事や挨拶等による明るい人間関係の育成を図る。 ・家庭学習時間を確保し、進路目標を明確にさせて、達成に向けて積極的に取り組ませる。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性の育成 ・進路目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通して学校の代表としての自覚を持たせ、自主学習会で集中力を養う。 ・学年集会や面接指導等によって進路目標を明確化し、家庭での学習状況を把握して、計画的・継続的に学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事でリーダーシップを発揮させるとともに、集中して学習する環境を整える。 ・最後まで継続的に努力する姿勢を持たせ、学習時間を十分に確保させる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 確実な学力の定着と一人一人の進路目標の実現について 2 活発で清々しい雰囲気のある学校づくりについて 3 学習活動、部活動、学校行事及び広報活動の充実について 		

平成27年度学校評価

平成27年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 創立40周年記念関連事業の成功と、本校を全員の力で盛り上げる雰囲気醸成する。 2 学習活動、部活動、学校行事の充実による、元気で活力にあふれた魅力ある学校づくりを推進する。 3 平成29年度高校入試改革に向けた、地域の中核的な進学校としての地位を確立する。 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、中学校に対する広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌の協力を得て、ホームページ、碧海野だより、安城東校通信による情報発信を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを随時更新し、本校からの広報が迅速かつ正確に行われるようになった。 ・PTAの委員会活動が更に充実するようにサポートする必要がある。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の出席率を高める教育課程運用 ・教務上の情報処理システムの更なる改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の出席状況を把握し、学級担任との連携を図る。 ・生徒指導要録作成等について改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒の出席状況を毎日記録し、欠席理由等を学級担任と連携して把握できた。 ・校務支援システムの利用を更に進めるために手順等を整理する必要がある。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進と保護者との連携 ・国公立大学の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア座談会や進学説明会の充実を図る。 ・学級担任を中心に国公立大学の研究内容、就職状況等を調査し、生徒の選択肢を広げる指導に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア座談会講師の選出方法及び運営方法を改善し、円滑に準備を進めることができた。 ・国公立大学の調査・研究は、3年担任中心に進めることができた。更に2年担任等に広げていきたい。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・自律ある生徒の育成 ・交通安全意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行、遅刻防止指導及び身だしなみ指導の徹底を図る。 ・交通事故防止及び交通マナーに対する意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制で生徒指導を行い、挨拶の活発化、遅刻数の減少などで成果を収めることができた。 ・交通事故及び交通マナーに関する情報を全職員及び全校生徒が共有し、予防対策を強化する必要がある。

平成27年度学校評価

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常清掃の徹底 ・ 相談活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校体制での清掃活動を行うために清掃点検を活用する。 ・ 問題を抱える生徒の早期発見と早期対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての生徒がしっかりと清掃活動に取り組んでおり、清掃状況は良好であった。 ・ スクールカウンセラーとの面談希望が増加する中、生徒・保護者が有効に活用できるように調整した。
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動の充実 ・ 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会活動に対する全校生徒の参加意識を高める。 ・ 指導體制及び活動環境を整備し、安全に十分配慮した活動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒議会や意見箱等を十分に活用し、生徒の意見、要望を取り入れたい。 ・ 部顧問会、部長会を定期的に開催し、教職員・生徒への指導の統一性を図る必要がある。
国際教育部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの生徒に国際感覚を身に付けさせる国際交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第34次訪豪団の研修成果を広く校内外に伝達する。 ・ 国際交流だよりを積極的に発行する。 ・ 長期留学生や姉妹校生徒との交流の機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流委員に役割を与えて意識を持たせ、生徒による国際交流活動を更に充実させたい。 ・ 近隣校の留学生も招待して「留学生を囲む会」を実施した。PTAのサポートもあり、有意義な交流が図られた。
図書部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館利用者の増加 ・ 館内書籍の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規購入図書の広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵書点検時に廃棄図書の選定を行い、館内のレイアウトの見直しも行った。
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣、学習習慣の確立 ・ 将来の目標を持たせた上での類型選択指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間にゆとりを持った5分前登校を徹底させる。 ・ 生活記録により、学習及び生活の振り返りをさせる。 ・ 総合的な学習の時間を活用して、キャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級担任と教科担任の連携を密にし、適時の学習指導を行うことができた。 ・ 保護者や同窓会と連携し、社会と職業について触れる機会を設定できた。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の課題を見付け解決していく力の育成 ・ 学年団の共通理解に基づく指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活記録、個人面談等を通じて、個々の生徒に課題を把握させる。 ・ 情報交換を密にし、全教員で指導に当たる体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の置かれた状況を把握し、細やかな指導を心掛けることができた。 ・ 各教員が積極的に提案し、生徒をよりよい方向へ導く姿勢をもち続けるように努めた。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立する心の育成 ・ 生徒の進路目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活全般を通して、自立する心を育成する。 ・ 生活記録等により家庭学習時間を把握し、継続的な学習をさせる。 ・ 面接指導や総合的な学習の時間を活用し、進路目標を達成する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高学年として、学校の代表として注目される存在であることを意識付けることができた。 ・ 進路目標に向かって、日々の学習活動を反省しつつ、早期に真剣に取り組むことを促すことにより、過年度に比べて学習時間の向上が見られた。
総合評価	<p>各分掌・各学年が重点課題を掲げて課題解決に向けて取り組み、様々な点で成果を収めた。主な具体例として次のことが挙げられる。創立40周年記念事業として著名人による国際理解講演会を実施した。PTAの協力も得て、近隣校の留学生を招いて「留学生を囲む会」を実施した。昇降口前での始業5分前入室指導を定着させ、遅刻数を過年度に比べて大きく減少させた。長崎方面へコース変更した修学旅行を初めて実施し、生徒の満足度が高かった。第2学年保護者対象の進学説明会を新たに実施した。ユネスコスクールに加盟し、国際交流やボランティア活動の充実が図られた。一方、交通事故件数が多い状態が続いていることや、欠席や成績不振の生徒が多いことなどいくつかの課題も残った。また、次年度は、国際理解コース開設や平成29年度から始まる新たな入学者選抜への準備なども進めなければならない。それらの課題に全校体制で取り組むとともに、学習活動、部活動、学校行事などの充実を図り、元気で活力にあふれた魅力ある学校づくりを推進していきたい。</p>		

平成27年度学校評価(学校関係者評価結果等)

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<p>創立40周年記念事業の成功と、本校を全員で盛り上げる雰囲気醸成</p>	<p>学習活動、部活動、学校行事の充実による魅力ある学校づくり</p>
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解コースが設定されたのは、国際交流活動が評価されたものであると思う。これだけ長く活動を続けている例はない。 ・学校の自己評価は以前と比べて良くなっている。大変良いことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安城東高校への志願者が減ったのは、安城市内の中学校の卒業生が、50人程減った影響であると思う。 ・地域とのつながりが、徐々に深まってきている。生徒が自分の考えで活動すれば、その経験が自分のために生かせるようになる。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安城東高校は面倒見が良すぎるため、学校の職員の負担が大きい。自主的に活動する気持ちを生徒に持たせたい。 ・国際理解コースでは、安城東高校ならではの特色を示してほしい。特に中学校に対してその魅力や手続き等を伝えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動では、学校が頑張ることができることとできないことがある。高額な新規購入物品などは同窓会やPTAに協力してもらおうとよい。 ・キャリア座談会では、職種の話ではなく、一般社会人としての内容をテーマにした方がよい。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーが月に1回では少ない。中学校では週に1回来てもらっているが、それでも少ないと思っている。また、中学校では時間割の中に「相談部の会議」や「いじめ対策会議」を設定して毎週実施している。 ・選挙に関する教育があってもよい。選挙をサポートするボランティアが可能であれば経験させたい。 ・保護者として39メールはすごく助かっている。子ども経由ではなかなか学校の情報が入らないので、親子で参加する行事を実施し、学校と家庭がもっと密接になるとよい。 ・サクス北の交差点で生徒の様子を見ると、自分が高校生の頃よりも自転車のマナーは良くなっている。しかし、交通事故に合う生徒がおり、自分の身は自分で守るという意識がまだ低い者が多いと思う。交通安全への意識付けをしてほしい。 	
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成……学校関係者評価委員7名(PTA会長・副会長を含む) ・評価時期……2月末 	